

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年3月2日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172900755		
法人名	有限会社 ノースランド企画		
事業所名	グループホーム きれんじゃく		
所在地	北海道旭川市末広5条7丁目1番11号 (電話) 0166-58-3838		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月1日	評価確定日	平成22年3月16日

## 【情報提供票より】(平成22年2月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 8月 20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	27 人	常勤 10人, 非常勤 17人, 常勤換算	11.4人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての ~ 2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	15,800~23,800 円
敷金	有(30,000 円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,313 円		

### (4) 利用者の概要(2月1日現在)

利用者人数	17 名	男性 1 名	女性 16 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名
要介護3	3 名	要介護4	7 名
要介護5	5 名	要支援2	
年齢	平均 86.88 歳	最低 67 歳	最高 95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医)フクダ 旭川メディハイルペインクリニック
---------	-------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設当初より、地域の中でその人らしく暮らしていくサービスとした運営理念、ケア理念を作りあげ、理念に基づいたケアサービスの実践が行われている2ユニットのグループホームです。また、家族等の来訪しやすいように話し合いが行われていると共に「家族アンケート」を実施して、サービス利用の満足度調査が実施され、運営に反映するよう努めています。地域との交流・連携では、小学生や中学生の体験学習の受け入れでホームの持つ機能の地域への還元や「ふれあいサロン」の参加で地域の独居老人との交流、地域で介護に不安を持っている人々への相談事業の展開、お祭りや敬老会等の町内会行事参加を通じて交流が行われています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営推進会議について改善点が見出されていましたが、年6回を目安に開催され、地域の小学生や中学生の体験学習の受け入れ等具体的内容について話し合われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全ての職員が参加して自己評価が行われ、新たな気づきや課題を明確にして改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については、家族等に報告されると共に運営推進会議にも報告され具体的改善の機会として利用されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議で体験学習の受け入れ等啓蒙活動が話し合われ主な内容は利用者 と接する時の心構えについて 感染症予防対策の取り組みについて 移動及び移乗の仕方について ラジオ体操、レクリエーションを実施する意義について お年寄りとのかかわり方について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族等及び来訪者が意見や不満、苦情等を言い表せるように「意見箱」を設置して、その機会を設けています。また「家族アンケート」を実施して、サービス利用の満足度調査の実施で運営に反映すると共に家族等に意見を求めてより良いケアのあり方や事故防止対策等のリスク管理について職員間で話し合われ共有する取り組みが実践されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 法人の1階で運営されている小規模多機能型居宅介護事業所に通う地域の人々との交流や「ふれあいサロン」の参加で地域の独居老人との交流、地域で介護に不安を持っている人々への介護相談事業の展開、小学生や中学生の体験学習の受け入れでホームの持つ機能の地域への還元やお祭りや敬老会等の町内会行事参加を通じて交流・連携が行われています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初より、地域の中でその人らしく暮らしていくサービスとした運営理念、ケア理念を作りあげ、理念に基づいたケアサービスの実践が行われている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有し、その達成のために具体的な個々の目標を掲げ年1回その達成度について話し合われている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人の1階で運営されている小規模多機能型居宅介護事業所に通う地域の人々との交流や地域で介護に不安を持っている人々への介護相談事業の展開、小学生や中学生の体験学習の受け入れでホームの持つ機能の地域への還元やお祭りや敬老会等の町内会行事参加を通じて交流・連携が行われている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全ての職員が参加して自己評価が行われ、新たな気づきや課題を明確にして改善の機会として利用されている。また、外部評価の結果については、家族等に報告されると共に運営推進会議にも報告され具体的な改善の機会として利用されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の委員は、利用者、家族、町内会役員、知見を有する有識者、町内会婦人部役員、管理者・職員で構成され、具体的に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市や包括支援センターとの連携の重要性について理解し、日常業務の相談等行っている。また、地区社会福祉協議会主催事業のふれあいサロンの参加で地域の人々の困っていること、不安に思っていること等相談に乗りながらサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p><b>4. 理念を実践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>一人ひとりの近況報告書で健康状態や状態変化等詳細に報告している。また、毎月「グループホーム きれんじゃく」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子等報告している。金銭管理については、毎月出納を報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等及び来訪者が意見や不満、苦情等を言い表せるように「意見箱」を設置して、その機会を設けている。また、家族等に意見を求めてより良いケアのあり方や事故防止対策等のリスク管理について職員間で話し合われている。</p>		<p>特筆すべき点として、「家族アンケート」を実施して、サービス利用の満足度調査が実施され、管理者、職員で話し合われている。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く安定している。また、職員の離職や異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人の内部研修の充実を図り、個々の職員の段階に応じて同一法人内の他施設と事例研究の発表会開催や研修会、緩和ケアや転倒防止、感染症予防対策等年間計画を立てて実施している。</p>		<p>地域のサービスの向上の為に実践者研修等の受け入れや内部研修を充実させ職員が働きながら学べる機会を確保しています。今後は、外部の研修に積極的に参加されることを企画していますので期待しております。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>認知症介護実践者研修の受け入れやグループホーム協議会、包括支援センター、市主催の研修会を通じて同業者との交流でケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、自宅訪問や見学、併設する小規模多機能型居宅介護事業所の利用などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるように工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人を介護される一方の立場におかず、散歩や買物、ラジオ体操やレクリエーションと一緒に楽しみながら本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め散歩や買い物、体験学習の子どもたちとの交流やホーム行事参加等本人本位に検討している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	センター方式の活用で本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的なものとなっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、毎月モニタリングを実施し、3ヵ月に一度計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院への支援や散歩、買い物やパワーリハビリの利用等柔軟に支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者をよく知るかかりつけ医、看護師と気軽に相談しながら、適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアを実践し、重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけや対応が行われている。また、個人情報保護方針を明示し、実践している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おしぼりたたみや食器拭き、食後の後片付け等一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、食事の準備や後片付け、食器洗いなどを行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴が楽しめるように支援している。入浴中は、会話や歌等で楽しんでいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら近隣のスーパーでの買い物や散歩、歌唱や体操、食事の準備・後片付け等楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、買い物や近隣への散歩、公園見物やドライブ等気分転換ができるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアを実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>本年度、スプリンクラーが設置されている。また、定期的な火災避難訓練の実施や緊急連絡網も整備されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立表には、カロリーが明記され、管理栄養士の指導・アドバイスも受けている。また、具体的な食事・水分摂取量が記録されている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間では、利用者にとって不快な匂いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、廊下や居間には、季節感のある花や観葉植物が飾られていたり、行事参加等の写真や壁には季節の貼り絵、利用者の作品が飾られて生活感も感じられる。一人になったり利用者同士談笑できるソファや椅子、テーブルが配置されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、本人や家族と相談しながら、仏壇や使い慣れた家具、趣味の手作りの作品が飾られ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。